

第9回待兼山会議(国際公共政策コンファレンス) 募集要項

主催: 大阪大学大学院国際公共政策研究科
共催: 大阪大学社会ソリューションイニシアティブ(予定)

I. 本会議について

大阪大学大学院国際公共政策研究科では、高校生を対象に社会の諸課題の打開や解決に向けての研究成果を発表する場として「待兼山会議(国際公共政策コンファレンス)」を開催しております。本研究科は2015年より高次の探究活動に取り組む高校生に活躍の場を提供してきており、今回で9回目の開催を迎えます。本行事では、高校生による探究活動の発表に加え、社会課題に関する基調講演などのプログラムも企画しています。

こんにち、世界と私たちの繋がりには更に密接なものとなり、生活に多大な変化を及ぼしています。2015年の国連サミットでは、誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会を目指す「持続可能な開発目標(SDGs)」を含む「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が全加盟国の合意で採択されました。またここ大阪の地では、「誰一人取り残さない」というSDGsの基本理念を実現する場である「いのち輝く未来社会」のデザインをテーマに国際博覧会(大阪・関西万博)が2025年4月より開催され、人類共通の課題の解決に向けて新たなアイデアを創造・発信する場になることがコンセプトとして掲げられています。その一方で、SDGsで示された17のゴールを2030年までに達成することを目指すなか現在その折り返し地点を迎えています。日本の達成度が不十分と評価されるものが多く存在しています。また、地球環境問題や感染症の全世界的な拡大など、国境を越えた協力と連帯が必要とされる国際問題もあります。さらに、今年10月に再燃したイスラム武装勢力ハマスとイスラエルの武力紛争をはじめとする、複雑で未解決な政治問題も山積しています。

これらの諸課題に対処するには、社会課題に対する強い関心はもとより、その本質を見極める能力や諸分野の知識・手法を横断的に駆使する公共政策的なアプローチ、文化や立場を超えて相互に理解を深める共感、そしてコミュニケーション能力等が求められます。

私たちの社会を見つめ直してそこに存在する諸課題を自分事として捉え、その打開や解決のための能力と発信力を身に着けると共に、将来の新たな世界を切り拓くリーダーとなる高校生同士で刺激を喚起し、ネットワークを作り出すことを目的に本会議を開催しております。

ぜひ奮ってご応募ください。

II. 本会議のテーマ

「持続可能な開発目標(SDGs)の実現のための国際的な問題の分析とその解決策」

2030年までに達成することを目指す「持続可能な開発目標(SDGs)」の17のゴール・169のターゲットを念頭に、社会の諸課題に対する現状分析、先行研究の紹介にとどまらず、それらに基礎付けられた**具体的かつ論理的な解決策を提示する研究**が求められます。

また、仮説や結論の明確さ、論理性、主張の新規性・独自性及び実現可能性を評価します。

Ⅲ. 概要

日程	2024年3月16日(土)～17日(日)
開催形式	対面開催(国外からのみオンライン参加可能) 希望者が一定数いる場合、東京サテライト会場を設けます。 その場合は大阪会場・東京サテライト会場をオンラインでつないで実施します。
会場	大阪会場:大阪大学豊中キャンパス 東京サテライト会場:東京都千代田区内 *東京会場については追って詳細をお知らせいたしますが、運営の都合上最大2分科会といたします。なお大阪会場は3分科会を目安とする予定です。 希望者数が基準を満たさない場合東京サテライト会場は設置いたしません。
スケジュール (予定)	○3月16日(土)10:00～18:00 ● 開会式 ● 基調講演 ● 分科会(高校生による発表) ● 全体発表審査員による講評)
	○3月17日(日)10:00～16:00(目安) ● 全体会(各分科会からの代表発表) ● 基調講演 ● 全体会(表彰、全体講評、閉会式) ● 懇親会(自由参加)
表彰・参加証	参加者には本研究科より参加証明書を発行します。 また、全体の中から優秀な発表を表彰します。 (特別に個人発表の中から優秀な発表を表彰することがあります。) その他、全ての発表について審査員による講評を予定しています。
応募・発表	無料 遠方から参加の場合、1人当たり宿泊費の補助として5000円を支給いたします。 支給の可否は所属高校と最寄りの会場との距離によって判断します。
見学	無料 分科会・全体会は対面及びZoom上での見学が可能です。 申し込みは以下のURLより行ってください。(HP上からも申し込みが可能です。) https://forms.gle/KpXsUBr5AqViq12r5

Ⅳ. 申込みについて

参加資格	高校生(2023年4月時点) 全日対面参加を原則とします。(交通機関などの事情による遅刻・早退に関しては応相談) 日本国外から参加の場合のみ会場以外からのオンライン参加が可能です。
発表人数	個人、チームを問いません。ただし、チームで発表する場合は、1チーム最大4人までとします。 また、同一の高校から複数の個人、チームが参加する事は可能です。

発表内容	持続可能な開発目標(SDGs)の実現のための、国際的な問題の分析及びその解決策の提示 ＊表彰者の発表については、概要を外部向けに公開する可能性があります。
発表形態 (予定)	スライド等を用いた口頭発表(20分)＋質疑応答(20分)
使用言語	日本語または英語
一次選考	希望会場ごとに、申し込みの際に提出していただく下記の研究内容についての論文に従って、運営役員が審査を行います。 また、第一希望会場の一次選考で落選した場合、第二希望の会場で合格となる場合があります。
申込方法	以下に従って、参加申込書、肖像権同意書(同意しない場合は提出不要)、研究内容についての論文をメールでご提出ください。 1. 宛先:flagshipoct12021@gmail.com (学生団体Flagship) 2. 件名:「〇〇高校・代表者氏名」 ◦<u>参加申込書</u> 下記のURLまたはQRコードからHPにアクセスし、【申込み詳細】ページから参加申込書をダウンロードし、記入後PDF形式で提出してください。 ◦<u>肖像権同意書</u> 下記のURLまたはQRコードからHPにアクセスし、【申込み詳細】ページから肖像権同意書をダウンロードしてください。 チームで参加する場合は、同意する参加者につき、全員分の肖像権同意書を代表者がまとめてPDF形式で提出してください。 ◦<u>研究内容についての論文</u> 1)ファイル形式:PDF形式 2)ファイル名:「〇〇高校・代表者氏名」 3)論文の構成 A. 表紙(1ページ目) a. 研究のタイトル b. 高校名 c. 執筆者名(チーム発表の場合はそのすべてのメンバー) B. 本文 ・2000字以上 ・本文は章立てをして記載してください。 ・先行研究を引用する際は、脚注を付ける、「」で囲むなどして引用部分が分かるようにすること。引用元を示さないコピー・剽窃は禁止します。 ・研究にあたり参照した情報・先行研究等については、下記を参照しつつ「参考文献」として研究の末尾にまとめて記載すること。 ・その他の引用方法に関する詳細は下記を参照し、正しく引用すること。 堀一成 坂尻彰宏、『阪大生のためのアカデミック・ライティング入門 ―「学問への扉」に備えて―』、大阪大学 全学教育推進機構、2023年4月第4版第5刷発刊

	https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/71454/2023academicwriting.pdf 「待兼山会議(国際公共政策コンファレンス)」HP: https://osippconference.wixsite.com/conference 
申込受付期間	2023年12月1日(金)～2024年1月4日(木) 必着
採否通知	2024年1月19日(金)

V. 問い合わせ先

学生団体Flagship

Email: flagshipoct12021@gmail.com

※応募の際に頂いた個人情報に関しましては、本行事の選考及び開催に必要な範囲でのみ利用させていただきます。

VI. 今後のお知らせ

HP及び各種SNSにおいて、最新情報を配信する予定です。

・「待兼山会議(国際公共政策コンファレンス)」HP:

<https://osippconference.wixsite.com/conference>

・学生団体Flagship Instagram (@_ou.flagship):

https://instagram.com/_ou.flagship

・学生団体Flagship Twitter (@ou_flagship):

https://twitter.com/ou_flagship

・「大阪大学 国際公共政策コンファレンス(待兼山会議)」Facebook:

<https://ms-my.facebook.com/machikaneyama.conf>